
Excel 業務支援ツール

全角⇔半角変換・ファイル統合／分割・行削除・URL 付与・住所分割

取扱説明書

M's Business Tools
Enterprise Excel Automation & Data Solutions
© M's Business Tools
All Rights Reserved.

1 概要

本書は Excel VBA で作成した「Excel 業務支援ツール」の操作説明書です。複数ファイルやセル範囲に対する半角⇄全角変換、複数ブックの統合・分割、特定行の非表示・再表示／削除、表示名への URL リンク付与、および住所分割を機能とします。付属の非表示シート「Mapping」は Unicode 正規化のためのマッピングテーブルを保持します。

2 動作環境と前提

- 対応 Excel: Windows 版 Excel (VBA 実行可能な環境)
- 前提設定: マクロを有効化してください。信頼できるフォルダに配置すると警告が出にくくなります。
- 注意事項: Unicode NFKC 正規化は Excel 標準では完全ではないため Mapping シートを使用します。大規模ファイルは処理に時間がかかります。必ずバックアップを取ってから実行してください。

3 機能一覧 (要約)

機 能	概 要	入 力	出 力	備 考
ファイル全体変換	複数ブックの全セルを半角/全角変換	ブック選択、変換方向、文字種選択	変換済みブック	Mapping を適用
範囲変換	指定セル範囲のみ変換	範囲指定、変換方向、文字種選択	範囲内のセルを変換	同上
統合	複数ブックの左端シートを1シートに統合	ブック群、タイトル行数	統合シート	書式が同じ前提
分割	行数の多いブックを複数ブックに分割	タイトル行数、分割数	分割ブック	同上
行非表示／削除	指定列にキーワードを含む行を非表示または削除	ブック指定、列、キーワード、動作選択	非表示または削除済みブック	子フォームで操作
URL 付与	表示名を維持してハイパーリンクを付与	セル範囲、URL パターン	ハイパーリンク付き表示	表示文字列は変更しない
住所分割	住所を都道府県、市区町村、以降に分割	住所セル範囲、都道府県列、市区町村列、番地等以降の列	分割結果を指定列に出力	日本住所向けルール適用

4 インストールと初期設定

- 1) 配布された Excel 業務支援ツール.xlsm、city_master.csv、gun_master.csv の3ファイルを、必ず同じフォルダに保存してください。

※OneDrive やクラウド上のフォルダではなく、Cドライブ内の任意のフォルダ（例：C:\ExcelTool\）に保存してください。OneDrive 上のファイルでは、ライセンス情報や設定情報が正しく保存されない場合があります。

必ずローカルフォルダ（Cドライブ内）でご利用ください。

- 2) Excel の「ファイル」→「オプション」→「セキュリティセンター」→「マクロの設定」でマクロを有効にしてください。
- 3) 必要に応じて Mapping シートを表示して内容を確認してください（通常は非表示）。
- 4) バックアップを作成してください。

5 操作手順

1) 共通 UI 説明

「Excel 業務支援ツール.xlsm」を起動すると以下の画面が表示されます。

2) 半角／全角変換 手順

- ① 「半角化」または「全角化」のラジオボタンを選択してください。
- ② 対象とする文字種（「数字」、「記号」、「カタカナ」、「英字」）のテキストボタンを

選択してください（複数可）。

③ 変換

A) 「Book（複数可）」ボタンでは複数の Book を一括で変換します。そのため、すべて上書き保存されますので、元の Book を残しておきたい場合は、別フォルダ等にコピーしておいてください。

B) 「指定範囲」ボタンでは、指定された範囲のみを対象に変換します。対象の Book は変換後に上書き保存するか、保存しないか、開いたままにするか選択できます。開いたままにしておけば、閉じるときに別名保存できます。

変換のログファイルには、

"対象ファイル", "シート名", "セルアドレス", "変換前", "変換後", "変換日時",

"ユーザー名", "処理モード", "対象文字種", "総セル数", "変換件数", "変換率", "備考" が保存されます。

※ Excel/VBA では標準で一部の文字が変換されない（"?"表示になる）ので独自のマッピングテーブルを用意する必要があります。（崎 → 崎）等主に昔の漢字で住所や氏名等に使われた文字です。Mapping シートのマッピングを適用して NFKC（「Normalization Form KC」の略で、Unicode 文字列を互換分解（Compatibility Decomposition）した後に正規合成（Canonical Composition）を行う形式）相当の正規化を試みます。

本 Book のシート「Mapping」に定義しています。このシートはメニューを右上の×で閉じて、タスクバーにあるエクセルアイコンをクリックすると「Sheet1」が表示されます。「Sheet1」のシート名を右クリックして「再表示」をクリックすると

「Mapping」シートが表示されます。"?"表示になる文字があった場合、このシートに追加で定義する必要があります。（例：A 列に崎、B 列に崎）

3) 同一書式複数 Book の統合・分割 手順

① 複数のブックを統合する場合

A) 「タイトルの行数」を入力してください。

B) 「統合開始」ボタンをクリックして、表示されるダイアログボックスで（Ctrl や Shift キー）を使用して複数ブックを選択してください。

各ブックの一番左のシートを順に読み、タイトル行は最初のブックのみ出力し、それ以降はデータ部のみを連結して 1 つのシートにまとめます。書式は原則保持しますが、列幅やセル書式の差異は手動調整が必要な場合があります。

注意: 列構成が異なるブックは期待通りに統合されないため、事前に列順とヘッダの整合を確認してください。

統合のログファイルには、

"処理開始", "処理終了", "処理時間(秒)", "ファイル名", "行数", "列数", "処理モード",
"結合セル保持", "ユーザー", "ステータス"
が保存されます。

② ブックを分割する場合

A) 「タイトルの行数」に加えて「分割数」も入力してください。

B) 「分割開始」ボタンをクリックして、表示されるダイアログボックスで分割元のブックを選択してください。出力は分割元ブック名_2-100、分割元ブック名_101-200 というように、分割行毎のブック名で保存されます。

分割のログファイルには、

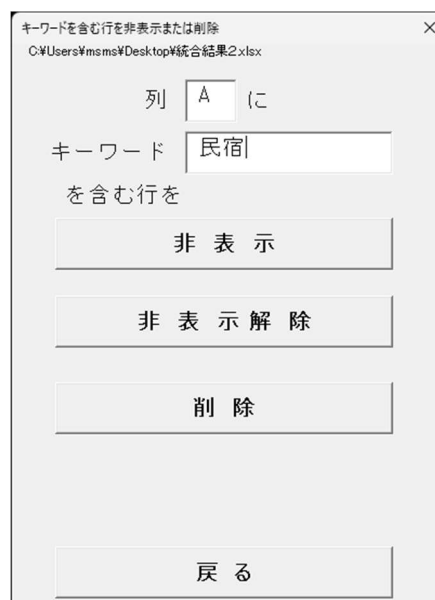
"分割元ファイル", "シート名", "分割番号", "行範囲", "作成日時", "保存ファイル名",
"保存先", "ユーザー名", "備考"
が保存されます。

4) KeyWord 含む行の非表示・再表示／削除 手順

① 「非表示・再表示／削除 開始」ボタンをクリックしてください。

② ブックを指定し、対象シート（省略時は左端シート）を選択してください。

③ 以下の画面が表示されますので、対象列を指定して、キーワードを入力してください。列はデータのある列を指定しますが、Excel の制限である XFD 列まで指定できます。



④ 「非表示」または「削除」ボタンをクリックしてください。

「非表示解除」は列やキーワードの入力は必要ありません。

この例では、A 列の各セルに“民宿”を含む行を「非表示」または「削除」します。

例えば”民宿〇〇〇“や”国民宿舎△△△”等が含まれます。

「非表示」ではデータ容量は変わりませんが、「削除」にするとデータ容量が減少します。

「非表示」にした Book は後で「非表示解除」ボタンで再表示することが出来ますが、「削除」した場合は元に戻すことはできませんのでご注意ください。

非表示／削除のログファイルには、
"日時", "ユーザー", "対象ファイル", "列指定", "キーワード", "対象行数",
"非表示行数", "処理時間(秒)"
が保存されます。

5) 表示名に URL リンクを一括付与 手順

- ① 表示名はそのままにして、URL の記載された列の URL をハイパーリンクとして追加します。例えば A 列に会社名、D 列にハイパーリンクや URL 文字列が入っているとすると、列数を増やしたくない、見やすくしたい等の理由で、A 列の表示はそのままにして、ハイパーリンクだけを追加して、D 列は削除したいというような場合や D 列が URL の記載された単なる文字列で、これを一括ハイパーリンクにしたいといった場合に使用します。
- ② 「表示名に URL リンクを一括付与」ボタンをクリックします。
- ③ 対象のブックを選択し、「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 「表示名を残す列を入力してくださいと聞いてきますので、「A」列を入力して「OK」をクリックします。
- ⑤ 次に、「リンク先の URL が入っている列を入力してください」と聞いてきますので、URL の入っている「D」列を入力して「OK」ボタンをクリックします。

表示名に URL リンクを一括付与ログファイルには、
"日時", "シート名", "行", "表示列", "リンク列", "結果"
が保存されます。

6) 住所分割 手順

- ① 「住所ブックの選択」ボタンをクリックして住所の入っているブックを指定してください。
- ② メニューに戻り、「シートを選択」のドロップダウンリストからシートを選択してください。表示されているシートで良ければそのまま結構です。
- ③ 「住所列」には住所全体が入っている列を、「都道府県列」、「市区町村列」「以下住所」にはそれぞれ貼り付けたい列を指定してください。
- ④ 「分割開始」ボタンをクリックしてください。

処理ルール: 日本の住所構造に基づき都道府県名を抽出し、次に市区町村名を抽出、残りを番地等として分割します。特殊ケース（丁目表記、ビル名、番地省略など）は完全一致しない場合があるため手動確認を推奨します。

備考: 県名の表記ゆれ（旧字体、略称）に対応するため Mapping を参照します。
住所分割ログファイルには、
“行番号”, “住所”, “エラー内容”, “時刻”
が保存されます。

6 試用版の制限とライセンス版について

本ツールには「試用版」と「ライセンス版」があり、試用版では機能ごとに利用制限があります。

制限を超える処理を行おうとした場合、メッセージが表示され、処理は中断されます。

1) 試用版の利用可能期間

- 試用版は **初回起動から 7 日間** 利用できます。
- 試用期間が終了すると、ツール起動時にライセンス入力画面が表示されます。

試用期間は、ツールを保存したフォルダが OneDrive などのクラウド上にある場合、正しく記録されないことがあります。必ず **C ドライブ内のローカルフォルダ** に保存してご利用ください。

2) 試用版の機能制限一覧

機 能	試用版での制限内容
ファイル全体変換	20 行まで処理可能
範囲変換	選択範囲の 20 行まで処理可能
複数ブック統合	最大 5 ブックまで、各ブック 20 行まで
ブック分割	最大 3 分割まで
行非表示／削除	20 行まで処理可能
URL 付与	20 行まで処理可能
住所分割	20 行まで処理可能

※制限値は内部ロジックに基づき設定されています。

※制限を超える処理を行おうとした場合、警告が表示され処理は中断されます。

3) ライセンス版のメリット

ライセンス版では以下の制限がすべて解除されます。

- 行数制限なし

- ブック数制限なし
- 分割数制限なし
- 試用期間なし
- 全機能をフルに利用可能

業務等で継続的に利用される場合は、ライセンス版のご利用を推奨します。

4) ライセンス版の取得方法

- ① ツール起動時に表示される「ライセンス申請」ボタンから、PC 固有の Machine ID をコピーしてください。
- ② 著作者（M's Business Tools）へ Machine ID をメールで送付してください。
連絡先：masa-.sato@nifty.com
- ③ 著作者よりライセンスキーが発行されます。
- ④ ライセンス入力画面にキーを入力すると、ライセンス版として利用可能になります。

ライセンスキーは PC 固有の情報を元に生成されるため、他の PC では使用できません。

5) ライセンス状態の確認

ツール起動時の画面上部に以下のように表示されます。

- 「試用版」：試用期間中または制限付き動作
- 「ライセンス版」：すべての制限が解除された状態

また、UserForm のフッターにもライセンス状態が表示されます。

Mapping シートの説明

- **目的:** Excel VBA の標準変換で変換されない Unicode 文字を正規化するための対応表。特に CJK Compatibility Ideographs 範囲（U+F900-U+FAFF）を Unified Ideographs 範囲（U+4E00-U+9FFF）へマッピングします。
- **構成:** 左列に変換元コードポイントまたは文字、右列に変換先文字を記載。追加の特殊記号や互換文字も同様に登録します。
- **運用:** 通常は非表示となっています。必要に応じて管理者が編集可能です。マッピングを追加したらツールを再実行して反映してください。
- **注意:** マッピングが不完全だと「？」表示や誤変換が発生するため、扱うデータに合わせてテーブルを拡張してください。

トラブルシューティング

- **処理が途中で止まる**: 大容量ファイルはタイムアウトやメモリ不足の可能性。ファイルを分割して再実行してください。
- **期待通りに変換されない文字がある**: Mapping シートに該当文字のマッピングがあるか確認してください。なければ追加してください。
- **数式が壊れた**: 数式セルを変換対象に含めた場合、数式の文字列部分のみ変換される仕様か、数式自体を除外する設定があるか確認してください。バックアップから復元してください。
- **統合で列ずれが起きる**: 各ブックの列順とヘッダを統一してください。ヘッダ行数設定が誤っているとデータがヘッダとして扱われることがあります。

保守と拡張

- **Mapping の更新**: 新しい文字や互換文字が見つかったら Mapping シートに追加してください。
- **ログ出力**: 実行ログを有効にしておくとも問題発生時の原因追跡が容易です。
- **バックアップ運用**: 自動バックアップ機能を有効にするか、実行前に手動でコピーを保存してください。

版情報と連絡先

- **バージョン**: 1.01 (作成 2026/04/14)
- **著 作 者**: M's Business Tools
- **連 絡 先**: masa-.sato@nifty.com
- **備 考**: 商用利用や配布の際は著作者表記を残してください。
- **そ の 他**: 機能追加や個別のリクエストも可能な限り承りますので、ご遠慮なくお知らせください。

以 上